



“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

各 位

2021年7月29日

株式会社 おきぎん 経済研究所

## おきぎん県内景況・速報（2021年6月分）

◎県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により復調の動きが依然停滞し、厳しい状況にある。

☆個人消費：全店ベース、既存店ベースともに前年同月を下回る。百貨店売上高は前年同月を下回る。

家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数も下回る。

☆建設関連：公共工事請負金額は前年同月を下回る。

生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

☆観光関連：入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数は下回る。

ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテルが前年同月を上回り、ビジネスホテルは下回る。ホテル客室単価、宿泊収入(推計値)ともに前年同月を上回る。

☆企業倒産：件数は前年同月を上回り、負債総額は下回る。

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

[担当]：仲本、野原、與那覇 [連絡先] 電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200

現場主義とお客さまからの信頼

おきぎん県内景況・速報(2021年6月分)

◎2021年6月 おきぎん「カトリア」景況図



◎概況：県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により復調の動きが依然停滞し、厳しい状況にある。

6月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月を下回りました。百貨店売上高は、前年同月を下回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数も前年同月を下回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を下回りました。

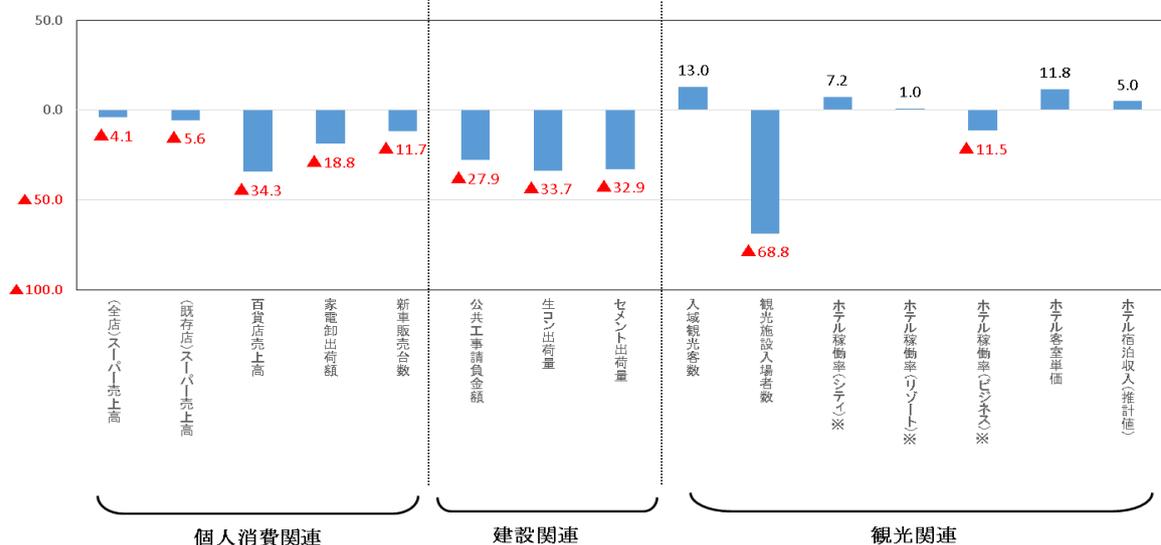
観光関連では、入域観光客数は3ヵ月連続で前年同月を上回り、観光施設入場者数は緊急事態宣言発出に伴う臨時休業（休館・休園）により前年同月を下回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテルは前年のホテルの休業体制からの反動増により3ヶ月連続で前年同月を上回り、ビジネスホテルは下回りました。ホテル客室単価及び宿泊収入(推計値)は前年同月を上回りました。

このような状況に鑑みて、建設関連では弱い動きが続いており、個人消費及び観光関連では、緊急事態宣言発出に伴う商業施設や観光施設の休業体制などから全体的に弱さがみられ、依然として厳しい状況にあることなどから、「県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により復調の動きが依然停滞し、厳しい状況にある。」と景気判断を据え置きました。

(2021年2月の下方修正から5ヵ月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比

(単位: %、※印はポイント)



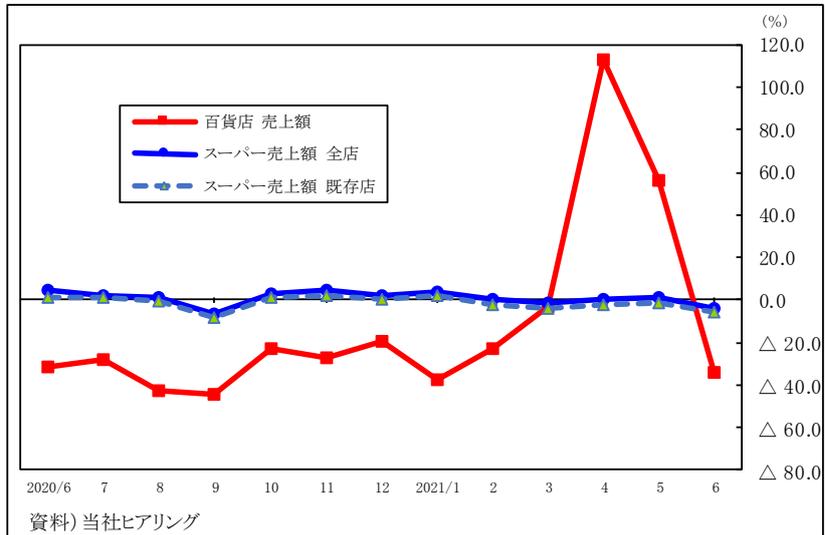


■個人消費:(やや悪い)

① スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月を下回る。百貨店売上高は、前年同月を下回る。

単位:%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2020/6	4.9	1.6	△ 31.7
7	2.2	1.3	△ 27.9
8	1.5	△ 0.8	△ 42.7
9	△ 6.1	△ 8.0	△ 44.0
10	3.3	1.1	△ 23.0
11	4.5	2.3	△ 27.0
12	2.2	0.4	△ 19.3
2021/1	3.9	1.7	△ 37.7
2	0.1	△ 2.1	△ 22.6
3	△ 1.7	△ 3.7	△ 3.5
4	0.2	△ 1.9	113.0
5	1.0	△ 1.0	56.4
6	△ 4.1	△ 5.6	△ 34.3



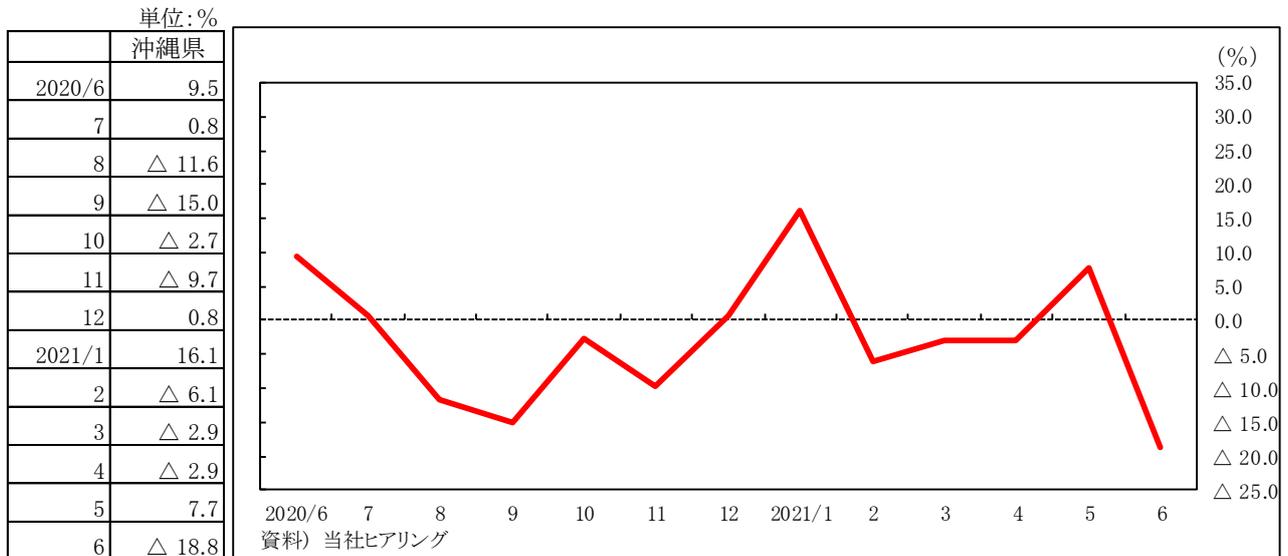
注) 前年同月比

6月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比4.1%減)」は、緊急事態宣言発出による外出自粛及び臨時休業の影響などから、「食料品(同4.1%増)」は伸びたものの、「衣料品(同45.7%減)」、「家庭用品(同16.2%減)」が大きく減少し、3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。

「既存店ベース(同5.6%減)」は、5ヵ月連続で前年同月を下回りました。品目別では、ウエイトの高い「食料品(同2.0%増)」は、外出自粛の影響などから巣ごもり需要が増加し、前年同月を上回りました。一方、「衣料品(同36.5%減)」は、緊急事態宣言発出による臨時休業や営業時間の短縮の影響により、前年同月を下回りました。家電を含む「家庭用品(同19.4%減)」は、前年に特別定額給付金の支給により伸びた反動などから、前年同月を下回りました。

百貨店売上高は、緊急事態宣言発出に伴う一部売場の土日休業要請の影響などにより、食料品を除き全般的に伸びず、3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました(同34.3%減)。内訳をみると、「食料品(同0.1%増)」は、お中元ギフト需要が増加し4ヵ月連続で前年同月を上回りました。一方、ウエイトの高い「衣料品(同42.4%減)」は、緊急事態宣言発出に伴う来店客数の減少などから、「紳士服(同37.5%減)」、「婦人服(同38.2%減)」、「子供服(同64.0%減)」など全般的に伸びず、4ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。「雑貨(同47.7%減)」は、緊急事態宣言発出に伴う土日休業要請の影響により来店客が減少し、前年同月を下回りました。

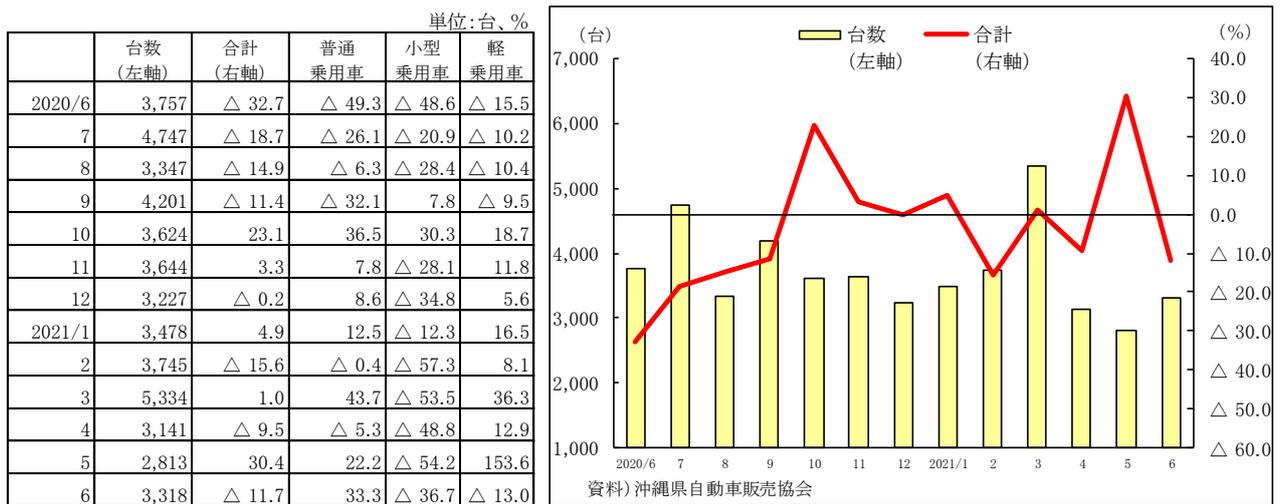
② 家電卸出荷額…家電卸出荷額は2ヵ月ぶりに前年同月を下回る。



注) 前年同月比

**家電卸出荷額**は、前年に特別定額給付金により伸びた反動などから、2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました(同 18.8%減)。品目別では、「エアコン(同 17.0%減)」、「冷蔵庫(同 19.5%減)」、「洗濯機(同 6.5%減)」といった白物家電は、特別定額給付金の反動に加え、前年に比べ気温が低く推移したことなどから、買い替え需要が伸びず、前年同月を下回りました。また、「テレビ(同 21.5%減)」、「VTR(同 5.5%減)」、「レンジ(同 29.9%減)」なども、前年同月を下回りました。

③ 新車販売台数…新車販売台数は、2ヵ月ぶりに前年同月を下回る。



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

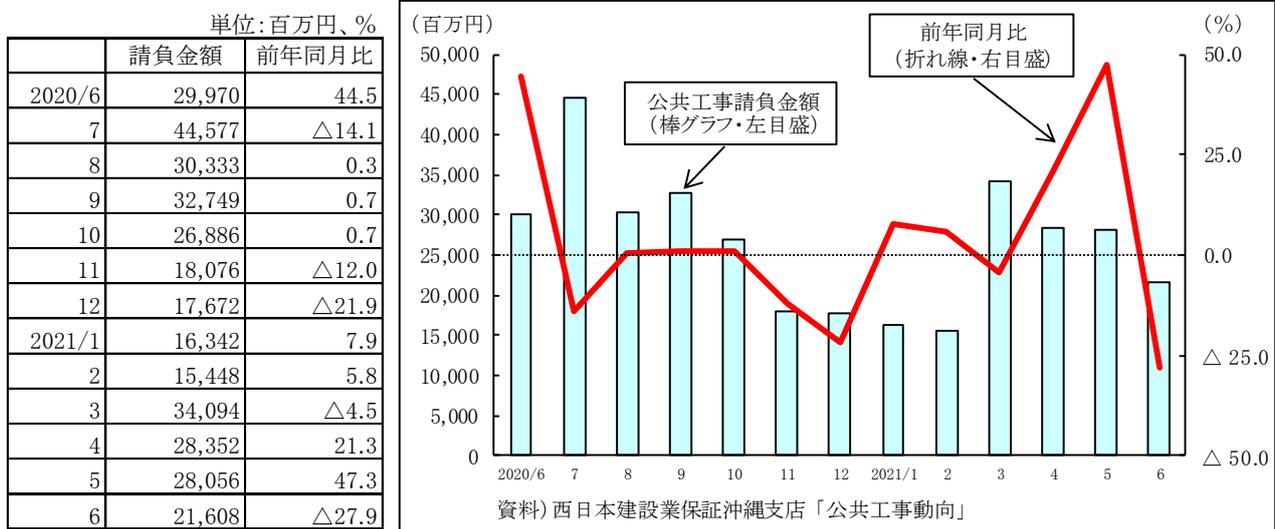
**新車販売台数**は、全体で3,318台(同 11.7%減)となり、2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。車種別では、「普通乗用車(同 33.3%増)」は、自家用車需要、レンタカー需要が伸び、前年同月を上回りました。一方、「小型乗用車(同 36.7%減)」、「軽乗用車(同 13.0%減)」は自家用車需要、レンタカー需要ともに減少し、前年同月を下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

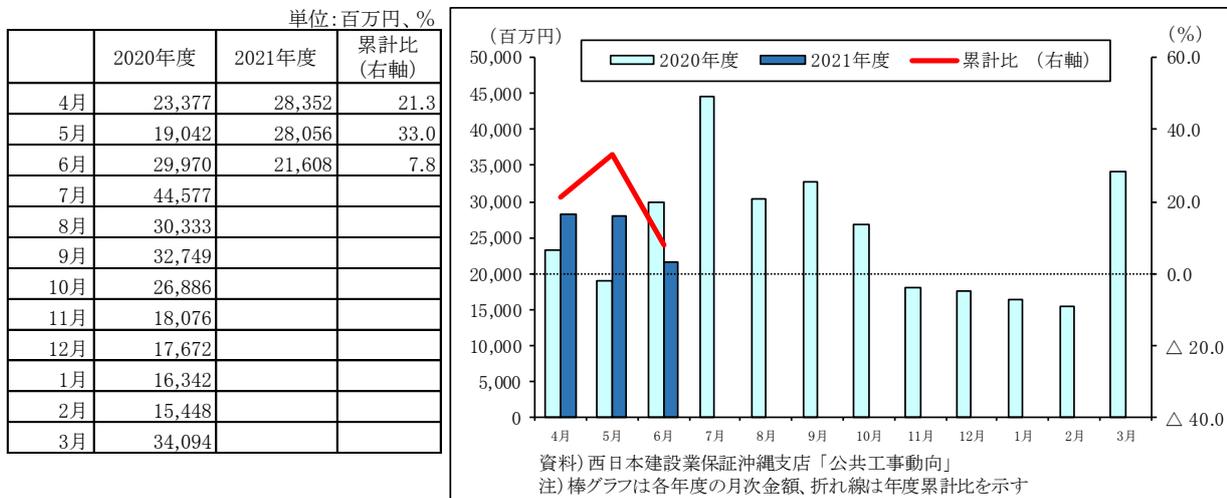


■建設関連： (ふつう)

①公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を下回る。



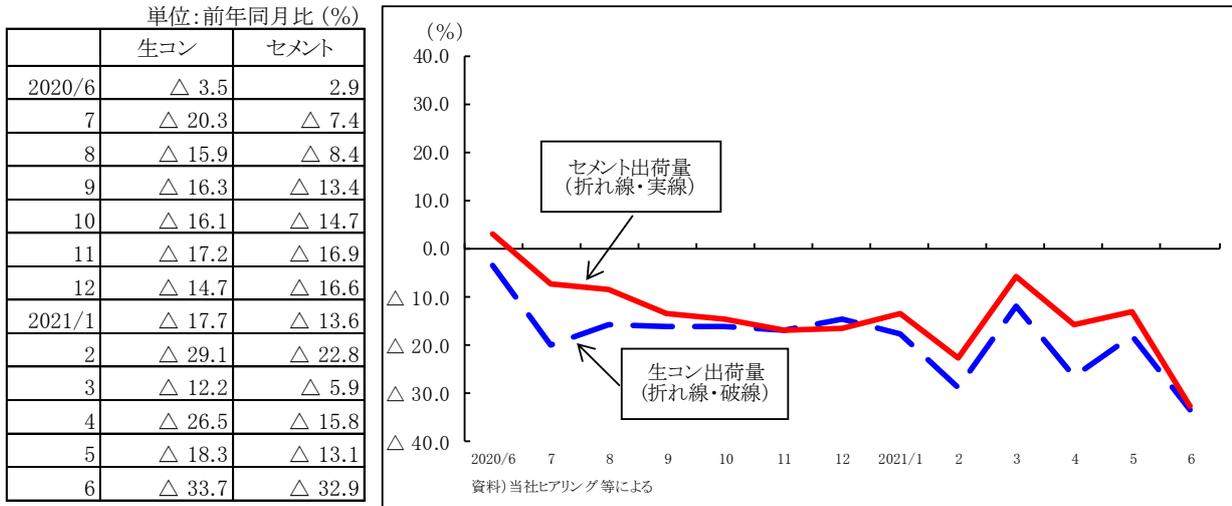
【参考】公共工事（年度累計）・・・公共工事請負金額は前年同期を上回る。



6月の公共工事請負金額は、前年同月比 27.9%減の 216 億 800 万円となりました(3ヵ月ぶり減)。今年度累計値では 7.8%増となっております。

発注者別でみると、「国(同 38.0%減)」や「沖縄県(同 17.2%減)」、「市町村(同 9.0%減)」、「独立行政法人等(同 50.8%減)」、「その他の公共的団体」のすべての項目で前年同月を下回りました。

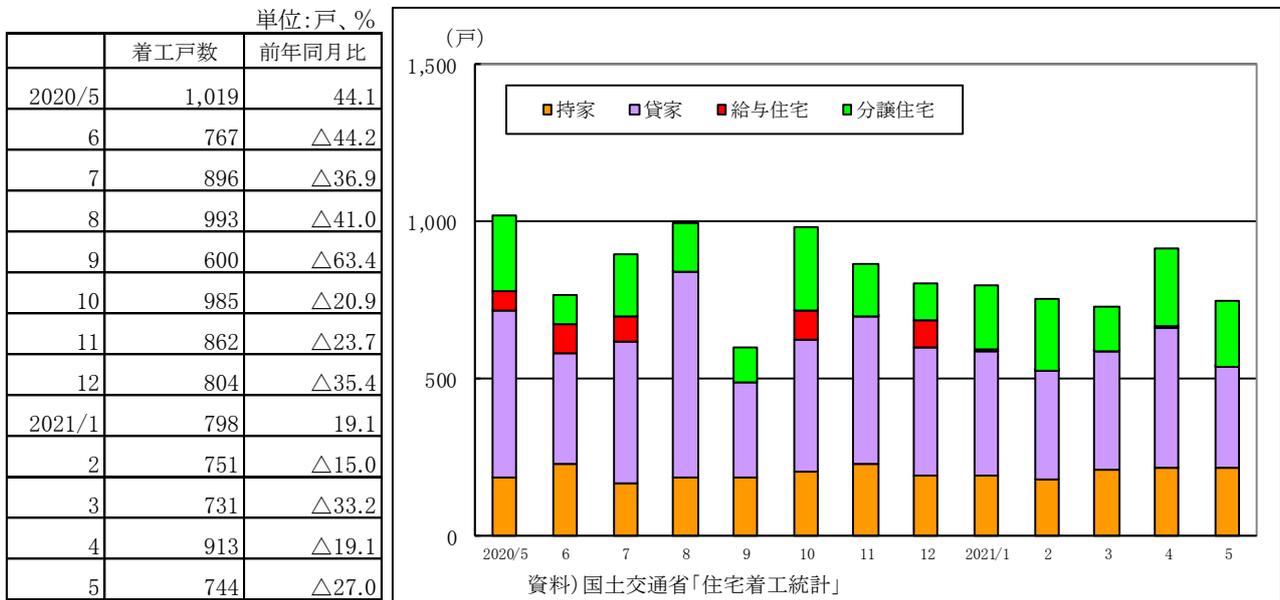
②建設資材・・・生コン、セメントはともに前年同月を下回る。



(注) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

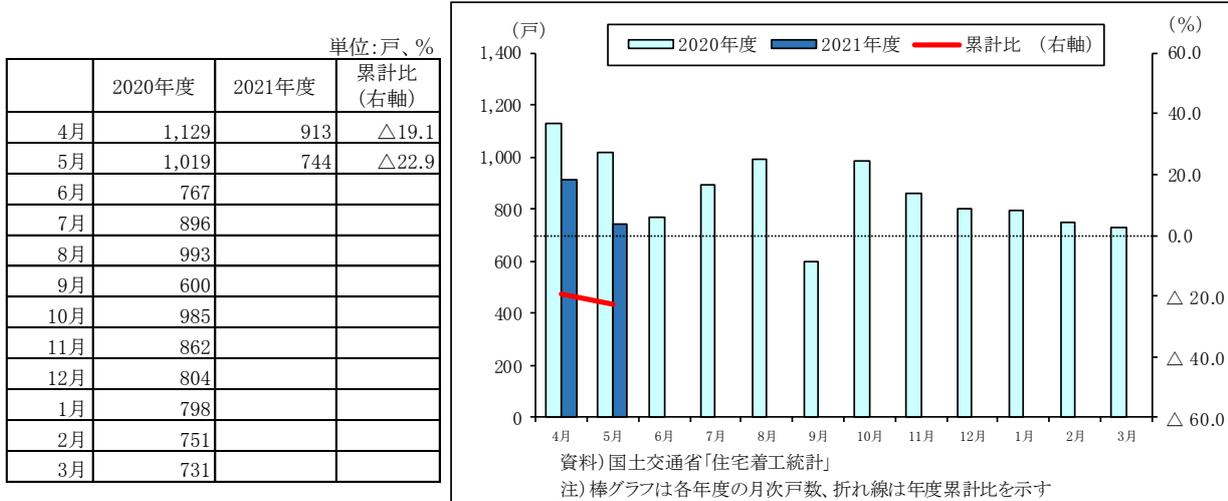
建設資材関連では、生コンの出荷量は 33.7%減と 17 ヶ月連続で前年同月を下回りました。内訳をみると、公共工事向けは、防衛関連等への出荷が減少したことなどから前年同月より 28.4%下回り、民間工事向けは、住宅関連等への出荷が減少したことなどから前年同月より 36.3%下回りました。セメント出荷量は 32.9%減と 12 ヶ月連続で前年同月を下回りました。

③【参考】住宅投資 (5 月)・・・着工戸数は前年同月を下回る。



5 月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比 27.0%減の 744 戸となり、4 ヶ月連続で前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家(同 40.6%減)」のほか、「給与住宅(同 96.5%減)」や「分譲住宅(同 14.8%減)」は前年同月を下回りました。一方、「持家(同 17.9%増)」は前年同月を上回りました。

【参考】住宅投資（年度累計）・・・着工戸数は前年同期を下回る。



今年度累計値では、22.9%減となっています。



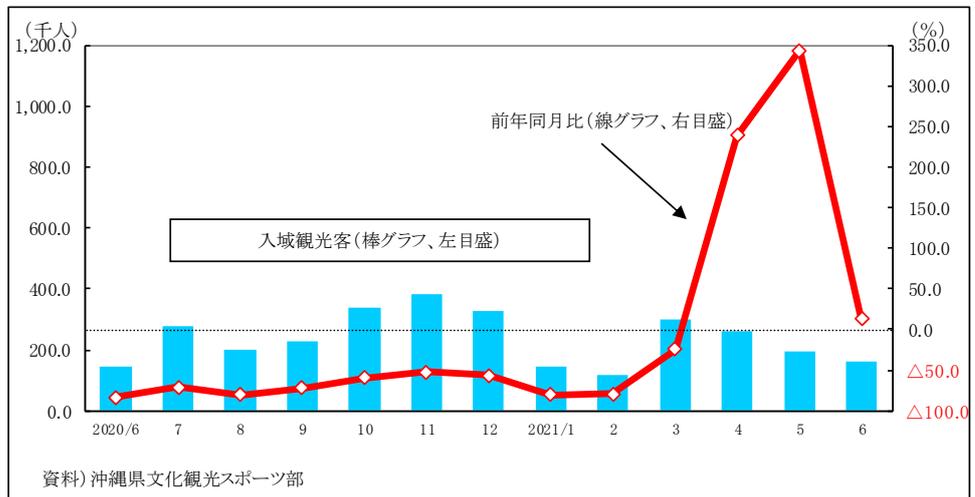
■観光関連： (悪い)

①入域観光客数 (国内客・外国客の合計)・・・3ヶ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2020/6	144.1	△ 83.4
7	277.3	△ 71.2
8	202.8	△ 80.1
9	227.6	△ 71.9
10	341.2	△ 59.9
11	381.1	△ 52.3
12	326.2	△ 56.8
2021/1	144.0	△ 80.2
2	118.8	△ 79.9
3	299.2	△ 24.5
4	262.6	239.7
5	195.2	343.6
6	162.9	13.0

※外国客は乗務員等を含む



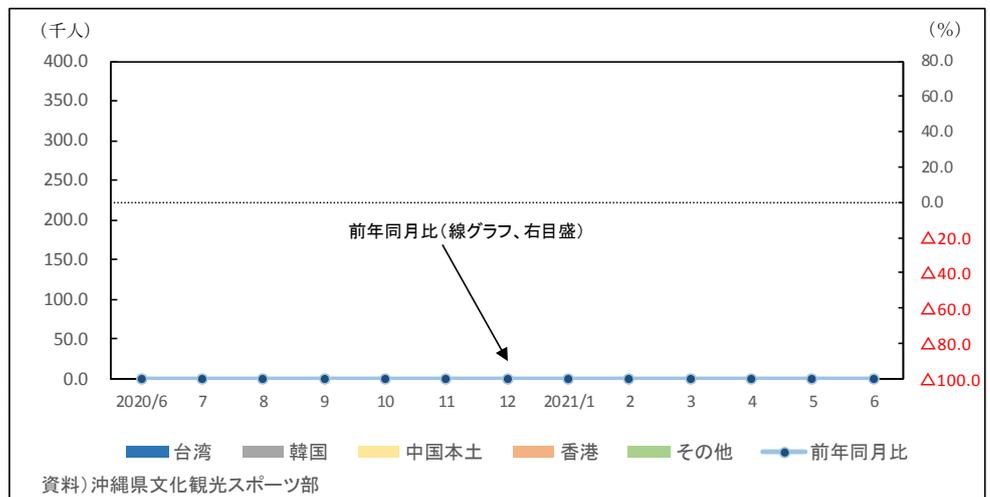
(参考)前々年(2019年)同月比、△705,300人、△81.2%

外国客 入域観光客数・・・前年同月同様、皆減。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2020/6	0.0	△ 100.0
7	0.0	△ 100.0
8	0.0	△ 100.0
9	0.0	△ 100.0
10	0.0	△ 100.0
11	0.0	△ 100.0
12	0.0	△ 100.0
2021/1	0.0	△ 100.0
2	0.0	△ 100.0
3	0.0	△ 100.0
4	0.0	△ 100.0
5	0.0	△ 100.0
6	0.0	△ 100.0

※外国客は乗務員等を含む



6月の入域観光客数は、18,800人多い162,900人(前年同月比13.0%増)となり、3ヵ月連続で前年同月を上回りました。6月は沖縄県や一部地域において緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の適用が継続されたものの、航空路線での新規就航や運航再開があった影響などから、前年同月を上回りました。しかし、前々年同月と比べると大きく下回っており、依然として厳しい状況となっています。

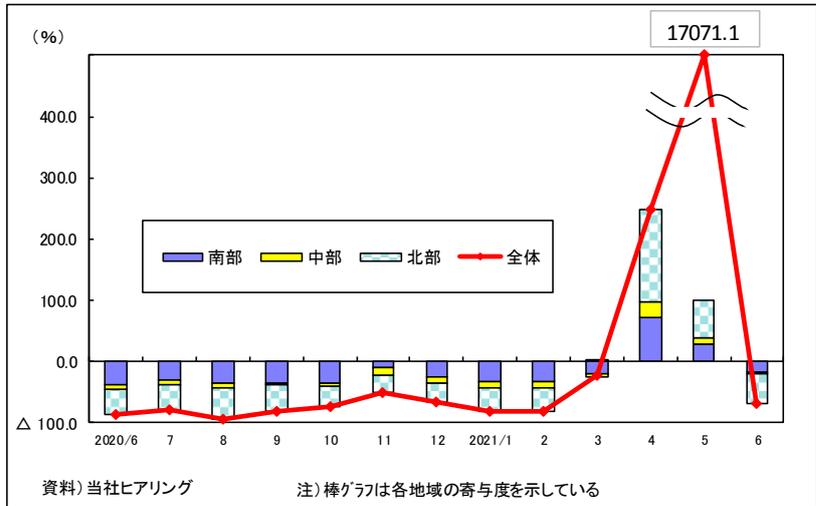
他方、「外国客(同100.0%減)」は、前年同月同様、0人となりました。台湾、中国、香港、韓国を含む国や地域から、日本への入国制限措置がとられたことなどから、引き続き皆減となりました。

「台湾(同100.0%減)」「韓国(同100.0%減)」「中国本土(同100.0%減)」「香港(同100.0%減)」

②観光施設入場者数・・・3ヵ月ぶりに前年同月を下回る。

単位:%

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2020/6	△ 87.7	△ 92.4	△ 92.8	△ 82.9
7	△ 78.5	△ 83.9	△ 83.4	△ 74.0
8	△ 92.6	△ 92.3	△ 92.6	△ 92.8
9	△ 81.2	△ 86.8	△ 73.5	△ 76.4
10	△ 73.6	△ 81.8	△ 58.9	△ 65.9
11	△ 51.2	△ 38.1	△ 55.1	△ 51.7
12	△ 58.3	△ 70.0	△ 48.4	△ 51.2
2021/1	△ 81.3	△ 87.8	△ 55.0	△ 79.6
2	△ 79.1	△ 90.4	△ 75.9	△ 72.5
3	△ 23.6	△ 46.0	△ 44.3	5.2
4	247.0	208.7	242.5	271.5
5	17,071.0	22,466.4	5,377.9	25,429.4
6	△ 68.8	△ 70.8	△ 47.7	69.6



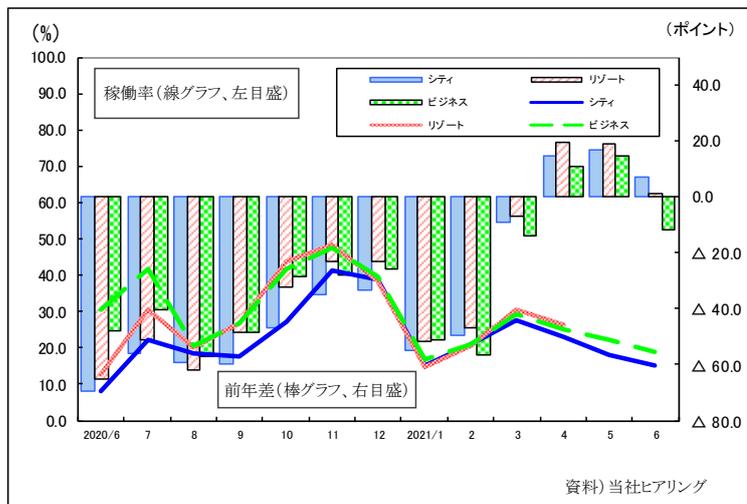
※調査対象施設数＝南部6、中部5、北部4施設  
 ※2019年3月より、北部の対象施設数が変更(5⇒4)となったことから、2018年3月以降の数値を遡って改定した。  
 ※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。  
 ※新型コロナウイルス感染症の影響等をふまえて集計している。

**観光施設入場者数**は、全体で前年同月より68.8%減少(3ヵ月ぶり)しました。緊急事態宣言発出に伴う臨時休業(休館・休園)により前年同月を下回りました。地域別にみると、南部にある観光施設は同70.8%減、中部は同47.7%減と3ヵ月ぶりに前年同月を下回り、北部は同69.9%増と4ヵ月連続で前年同月を上回りました。

(参考)前々年(2019年)比では、全体で96.2%の減少となります。内訳では南部にある観光施設が97.8%減少、中部が96.1%減少、北部が94.8%の減少と、依然厳しい状況となっています。

③ ホテル稼働率・・・シティホテル、リゾートホテルで前年同月を上回り、ビジネスホテルは下回る。

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2020/6	8.2	12.8	30.4	△ 69.6	△ 64.9	△ 48.1
7	22.4	30.5	41.7	△ 55.8	△ 51.4	△ 40.1
8	18.6	20.1	20.7	△ 59.5	△ 61.8	△ 56.9
9	17.6	26.6	26.7	△ 59.9	△ 48.4	△ 48.6
10	27.0	43.8	41.6	△ 46.6	△ 32.5	△ 28.4
11	41.2	48.4	47.4	△ 35.1	△ 23.0	△ 28.2
12	38.9	38.5	39.5	△ 33.2	△ 23.3	△ 25.9
2021/1	15.1	14.9	16.7	△ 55.1	△ 51.9	△ 51.4
2	20.9	20.5	20.9	△ 49.3	△ 46.6	△ 56.7
3	27.8	30.3	29.4	△ 9.2	△ 7.0	△ 13.8
4	23.0	26.5	25.0	14.7	19.4	11.1
5	17.9	20.3	22.3	16.6	18.9	14.7
6	15.3	13.8	18.9	7.2	1.0	△ 11.5



注)シティ8ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス4ホテル

注)2019年11月より、ビジネスホテル対象施設数が変更(6⇒4)となったことから、2018年11月以降の数値を遡って改定した。

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

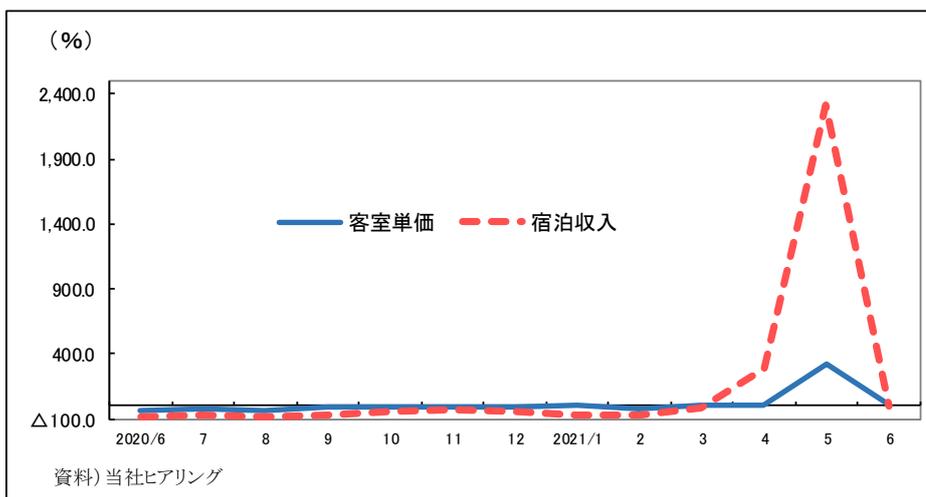
※新型コロナウイルス感染症の影響等をふまえ集計している。

県内ホテル稼働率は、前年の休業体制からの反動増によりシティホテルが15.3%と7.2ポイント増加(3ヵ月連続)、リゾートホテル13.8%と1.0ポイント増加(3ヵ月連続)、ビジネスホテルが18.9%と11.5ポイント減少(3ヵ月ぶり)しました。

(参考)前々年(2019年)比では、シティホテルが62.5ポイントの減少、リゾートホテルが63.9ポイントの減少、ビジネスホテルが59.6%ポイントの減少と、依然厳しい状況となっています。

④ ホテル客室単価・宿泊収入・・・ホテル客室単価、宿泊収入ともに前年同月を上回る。

	単位: %	
	客室単価	宿泊収入
2020/6	△32.0	△85.5
7	△27.0	△71.6
8	△28.9	△81.7
9	△6.6	△64.1
10	△11.5	△44.3
11	△1.9	△24.4
12	△9.8	△37.2
2021/1	5.2	△75.0
2	△24.8	△75.6
3	3.5	△10.6
4	6.5	294.9
5	r 323.9	2,308.6
6	11.8	5.0



※対象施設数:26施設(シティ8、リゾート18)、ビジネスは除く

※客室単価は26施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

※新型コロナウイルス感染症の影響等をふまえ集計している。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年同月比11.8%増と前年同月を上回りました。また宿泊収入も同5.0%増と前年同月を上回りました。

(参考)前々年(2019年)比では、客室単価が24.4%の減少、客室収入は84.8%の減少と、依然厳しい状況となっています。

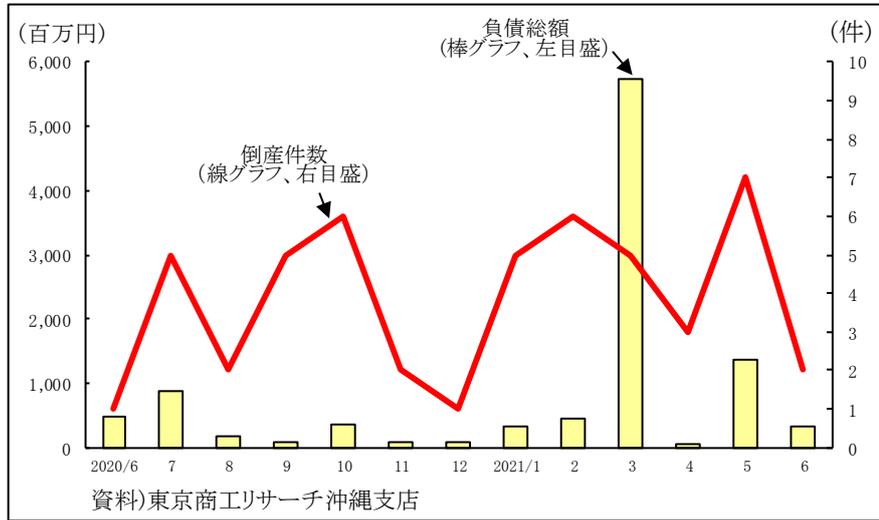


■企業倒産： (やや良い)

企業倒産・・・件数は前年同月を上回り、負債総額は下回る。

単位:百万円、件

	負債総額	倒産件数
2020/6	490	1
7	862	5
8	182	2
9	84	5
10	360	6
11	87	2
12	88	1
2021/1	312	5
2	454	6
3	5,753	5
4	37	3
5	1,359	7
6	337	2



注) 負債総額1,000万円以上を集計対象

6月の企業倒産件数は、2件(うち大口倒産2件)となり、前年同月より100.0%上回りました。

負債総額は3億3,700万円となり、前年同月より31.2%下回りました。

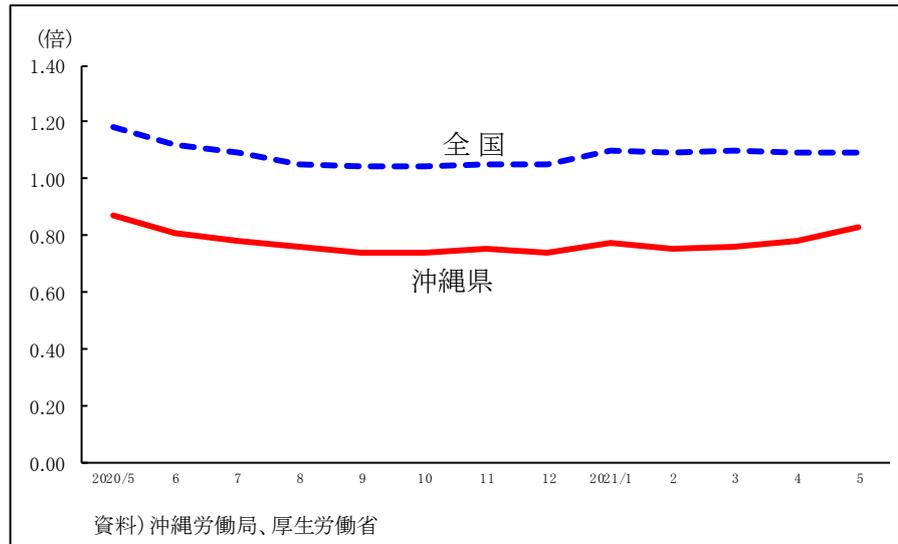


■雇用関連： (やや悪い)

①【参考】有効求人倍率(5月)・・・沖縄は前月より上昇、全国は同水準。

単位:倍

	沖縄県	全国
2020/5	0.87	1.18
6	0.81	1.12
7	0.78	1.09
8	0.76	1.05
9	0.74	1.04
10	0.74	1.04
11	0.75	1.05
12	0.74	1.05
2021/1	0.77	1.10
2	0.75	1.09
3	0.76	1.10
4	0.78	1.09
5	0.83	1.09



注) 季節調整済

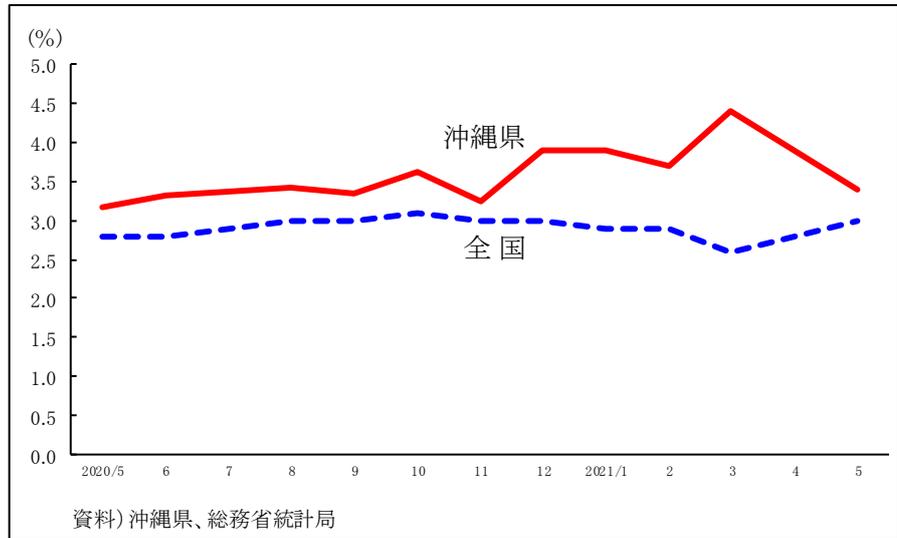
注) 沖縄県の数値は県内を就業地とする「就業地別」求人数を用いて算出

5月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)が前月比3.4%増の24,406人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比2.4%減の29,491人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.83倍と、前月より0.05ポイント上昇しました。

②【参考】完全失業率（5月）・・・沖縄は前月より低下、全国は上昇。

単位:%

	沖縄県	全国
2020/5	3.2	2.8
6	3.3	2.8
7	3.4	2.9
8	3.4	3.0
9	3.3	3.0
10	3.6	3.1
11	3.3	3.0
12	3.9	3.0
2021/1	3.9	2.9
2	3.7	2.9
3	4.4	2.6
4	3.9	2.8
5	3.4	3.0



注) 季節調整済

5月の完全失業率(季節調整値)は、3.4%となり前月より0.5ポイント低下しました。